



ゆいわーく茅野

ひとまちカレッジ

～活動をみんなで支えるために～

本発表は、活動を支えるスタッフを増やすための取り組みとして実施した新人研修の資料をベースに話しを進めます。

A horizontal banner image showing a dense forest with green leaves and tree trunks. Overlaid on this is a white rectangular box with a black dotted pattern. Inside the box, the text '豊かな森林を子供たちの世代に' is written in red, with the character 'も' (mo) in red above 'の' (no).

豊かな森林を子供たちの世代に

目次

- 沿革、組織、会員状況
- NPOとは
- 定款について
- 年度内事業の概要紹介
- 事業の推進と会員の役割
- NPO運営に必要な人材
- 必要な人材獲得のための取り組み



沿革

平成14年5月	ハヶ岳森林文化の会 設立
平成14年 ～平成18年	ハヶ岳山麓を中心にして、吉田山を活動拠点にしながら自然観察及び森林保全活動を展開する。
平成17年6月	茅野市に「市民の森」に関する提言
平成17年12月	(「市民の森を創る会」の発足 市民の森は平成19年11月オープン)
平成18年	森林整備の「作業班」発足
平成22年3月	NPO法人 ハヶ岳森林文化の会 設立登記
平成24年3月	茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」発行
平成28年6月	全国植樹祭にて「緑の功労者 緑の伝承部門」で県より表彰される
平成29年3月	茅野市 市民の森ガイドブック2「森を楽しむ」発行



設立背景

•経緯

ビーナスライン・ピラタスロープウェイ等の建設に伴う八ヶ岳・蓼科山の自然保全策として、八ヶ岳・蓼科山の山麓の森林や文化を保全するための新たな市民組織を行政と市民協働でおこなうこととなった。

•設立目的

八ヶ岳地域の森林を学び、つくり、楽しむ活動をとおして、森林文化を伝承し創造することにより、私たちの生活を豊かにするとともに、美しい生き生きとした森林を守り伝えていくことを目的とする。



組織

総会

理事会

監事

事務局

森づくり部会

森林観察学習部会

森林整備事業部

現在は、
理事長
森づくり部会 正副部会長、
森林観察学習部会 正副部会長、
森林整備事業部 正副事業部長
事務局長 計8名で運営

会員は、一つまたは複数の部
会に所属して頂き、活発な活
動の実現にご協力頂きます。

現在は、6名で運営
(うち2名現役)

森林整備事業部には、会員の中
で所定の研修を受けた方だけ
が参加することができます。



会員状況 (H29.6.11現在)

会員数	84名
正会員	72名
賛助会員	12名
森づくり部会員	62名
森林観察学習部会員	40名
森林整備事業部員	36名



NPOとは

NPOとは、

営利を目的とせず、ミッション(社会的使命)を目的に活動する民間の団体のことです。

その中で法人格を持った団体のみが「NPO法人」を名乗ることができます。

なお、「非営利」とは次のいずれにも該当するものをいいます。

- 営利を目的としないこと
- 財産の還元を目的としないこと
- 余剰利益を団体の構成員の間で分配しないこと
- 利益を活動に再投資すること

(長野県HPより)



定款より(目的)

第2章 目的及び事業 (目的)

第3条 この法人は、八ヶ岳地域の森林が有する多くの有益な機能と、森林文化をより多くの人々が享受し私達の生活を豊かにしていく為に、森林をより深く理解し伝える活動ならびにその公益的機能の回復、森林資源を有効に利用する活動を通して、美しい生き活きとした森林を楽しみ、護り末永く伝えてゆくことを目的とする。



定款より(事業)

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 社会教育の推進を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 子どもの健全育成を図る活動
- (4) まちづくりの推進を図る活動
- (5) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (6) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動



定款より(事業)

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 間伐等の森林整備事業および植林、植林木の育成事業
- ② 間伐材を含めた木材を有効に活用する事業
- ③ ハヶ岳連峰とその里山が有する森林機能と動植物等の多様性を保全する為の事業
- ④ 青少年を含めた多くの人々へ森づくりや自然観察などの研修体験を提供する事業
- ⑤ その他、第3条の目的達成に必要な事業

H28年度事業の概要紹介 ①-1

伐木技術基礎講習会

担当:森づくり部会

4/10、4/18 伐木技術基礎講習会

講師: 当会スタッフ

参加人数: 22人

スタッフ: 10人

以後、
人数はすべて
延べ人数



H28年度事業の概要紹介 ①-2

森林整備事業

担当:森林整備事業部

4月～11月 森林整備事業

茅野市市民の森 周辺部傾斜地

間伐10ha、搬出100m³

スタッフ: 377人



事業初日の安全祈願



事業初日の演習



H28年度事業の概要紹介 ②-1

薪づくり講習会

担当:森づくり部会

5/29 第1回薪づくり講習会

参加人数: 39人

スタッフ: 20人

10/23 第2回薪づくり講習会

茅野市役所 農林課共催

参加人数: 30人

スタッフ: 12人



H28年度事業の概要紹介 ②-2

炭焼き体験講習会

担当:森づくり部会

6/5～6/12 炭焼き体験講習会

今年度は会員のみ事業

スタッフ: 15人



炭量 181.5kg 製炭率 20.9%



名物 ランチパーティー



H28年度事業の概要紹介 ②-3

製材研修会

担当:森づくり部会



4/8 8/21 製材講習会 2回
スタッフ: 16人、8人

9/11 チェーンソークラフト講習会
参加人数: 9人
スタッフ: 4人

チェーンソークラフト講習会

担当:森づくり部会



イス



ベンチ



プランター

H28年度事業の概要紹介 ②-4

きのこの原木づくり

担当:森づくり部会



11/13 きのこの原木づくり

スタッフ: 10人

H29 3/19 きのこの菌打ち講習会

参加人数: 120人 スタッフ: 27人

茅野市 生活環境課共催

きのこの菌打ち講習会

担当:森づくり部会



H28年度事業の概要紹介 ③

月例観察会

担当:森林観察学習部会

4月～11月 1回／月

市民の森月例生態観察会

年間メンバー制、一日参加も可

参加人数: 149人 スタッフ: 31人

4/8 H28年度間伐地植生調査

スタッフ: 7人



H23, H24年度間伐地植生調査継続中

H28年度事業の概要紹介 ④-1

観察会

担当:森林観察学習部会



5/31 市民の森 春の散策会 **今年度初**

講師:当会月例観察会メンバー

参加人数: 21人

スタッフ:5人

10/2 市民の森 秋の観察会

講師:大木正夫さん

(長野県林業大学校講師)

参加人数: 22人

スタッフ:6人



H28年度事業の概要紹介 ④-2

森林療法プログラム

担当:森林観察学習部会



6/4 森林療法プログラムⅠ みんなの森林(もり)づくり

参加人数: 13人

スタッフ: 6人

9/25 森林療法プログラムⅡ のんびり森あるき

参加人員: 25人

スタッフ: 7人



H28年度事業の概要紹介 ④-3

子供達の森の体験

担当:森林観察学習部会

7/10 子供達の森の体験Ⅰ

ボーイスカウトへの体験提供

参加人数: 19人

スタッフ: 5人

8/2 子供達の森の体験Ⅱ

家族でのんびり楽しむ森の観察

参加人数: 18人

スタッフ: 5人



H28年度事業の概要紹介 ④-4

ウッドチップパーによる
森の整備

担当:森林観察学習部会

5月～11月 1回／月 年7回

7月、8月、9月は一般参加を募集

午後にクラフトを実施

参加人数: 57人

スタッフ: 51人



H28年度事業の概要紹介 ④-5

青少年「森に学ぶ」

担当:理事会

6/7 青少年「森に学ぶ」

参加人数: 34人

スタッフ: 9人



冬の研修会

担当:森林観察学習部会

H29/1/22 冬の研修会

植物と菌類の今、昔

講師: 小山明人さん

参加人数: 36人

スタッフ: 4人



H28年度事業の概要紹介 ④-6

市民の森の案内

纏め:理事会 担当:森林観察学習部会

5/28 市民の森の案内

東京の 山の自然学クラブ

参加人数: 21人

スタッフ: 3人

米沢小学校 森林教室

纏め:理事会 担当:森林観察学習部会

11/17 米沢小学校 森林教室

参加人数: 44人

スタッフ: 5人



H28年度事業の概要紹介 ⑤

学習会・研修会

担当:森林観察学習部会

5月～H29.2月 2回/月

地域資源有効活用学習会

～森林の理解を深め、森林資源の活用を考えよう～

参加人数: 200人

スタッフ: 34人



講演会

担当:理事会

5/22 総会・講演会

参加人数: 50人

スタッフ: 5人



H28年度事業の概要紹介 ⑤

その他 対外活動

10/22 高原の都市エコフェスタ参加 担当:理事会
活動展示とクラフト体験コーナー
スタッフ: 7人

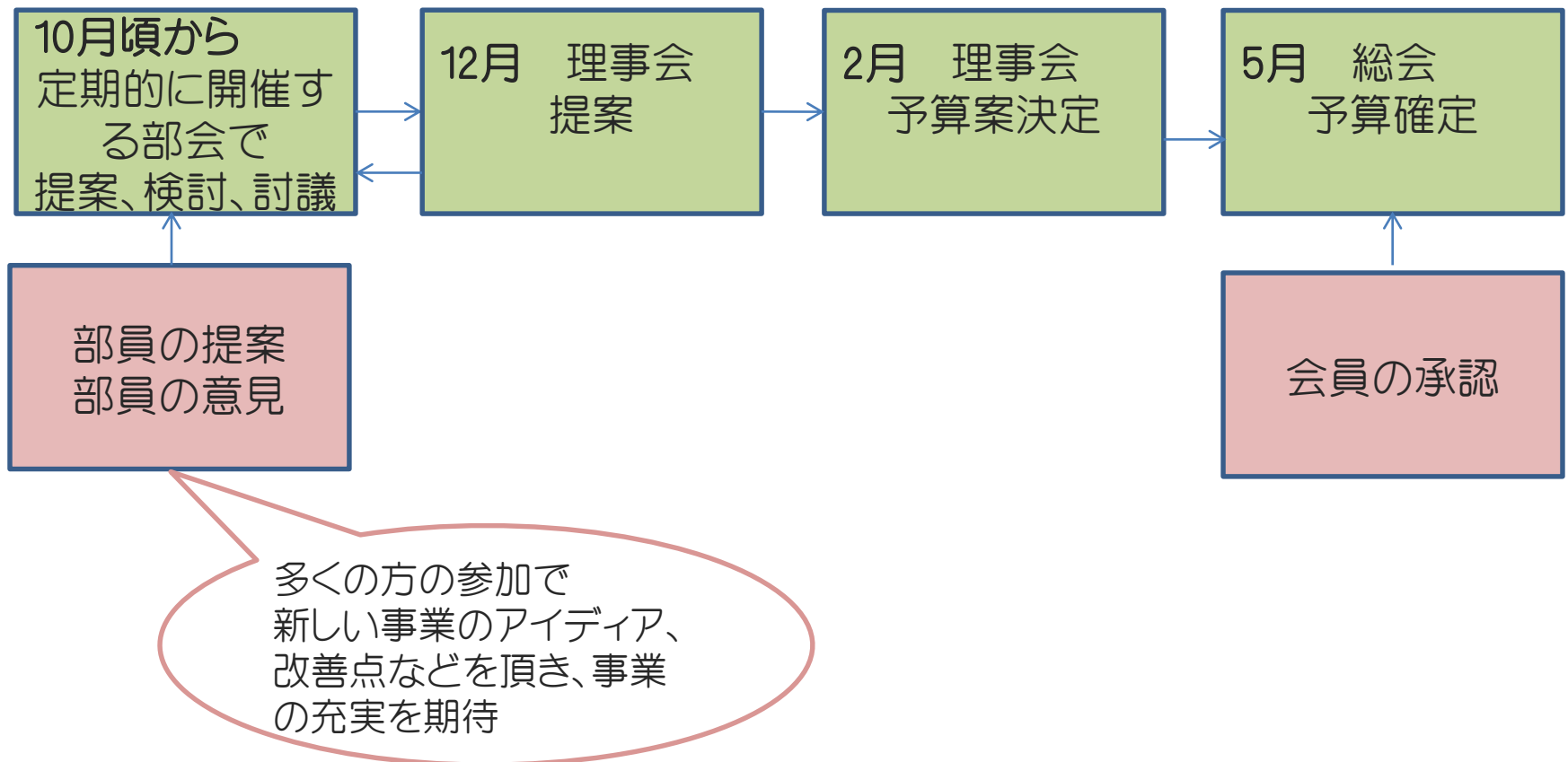
11/13 ゆいわーく茅野 誕生 担当:理事会
クラフト体験コーナー
参加人数: 57人
スタッフ: 2人

6月～3月 ガイドブック2「森を楽しむ」制作
スタッフ: 175人 担当:編集プロジェクトチーム



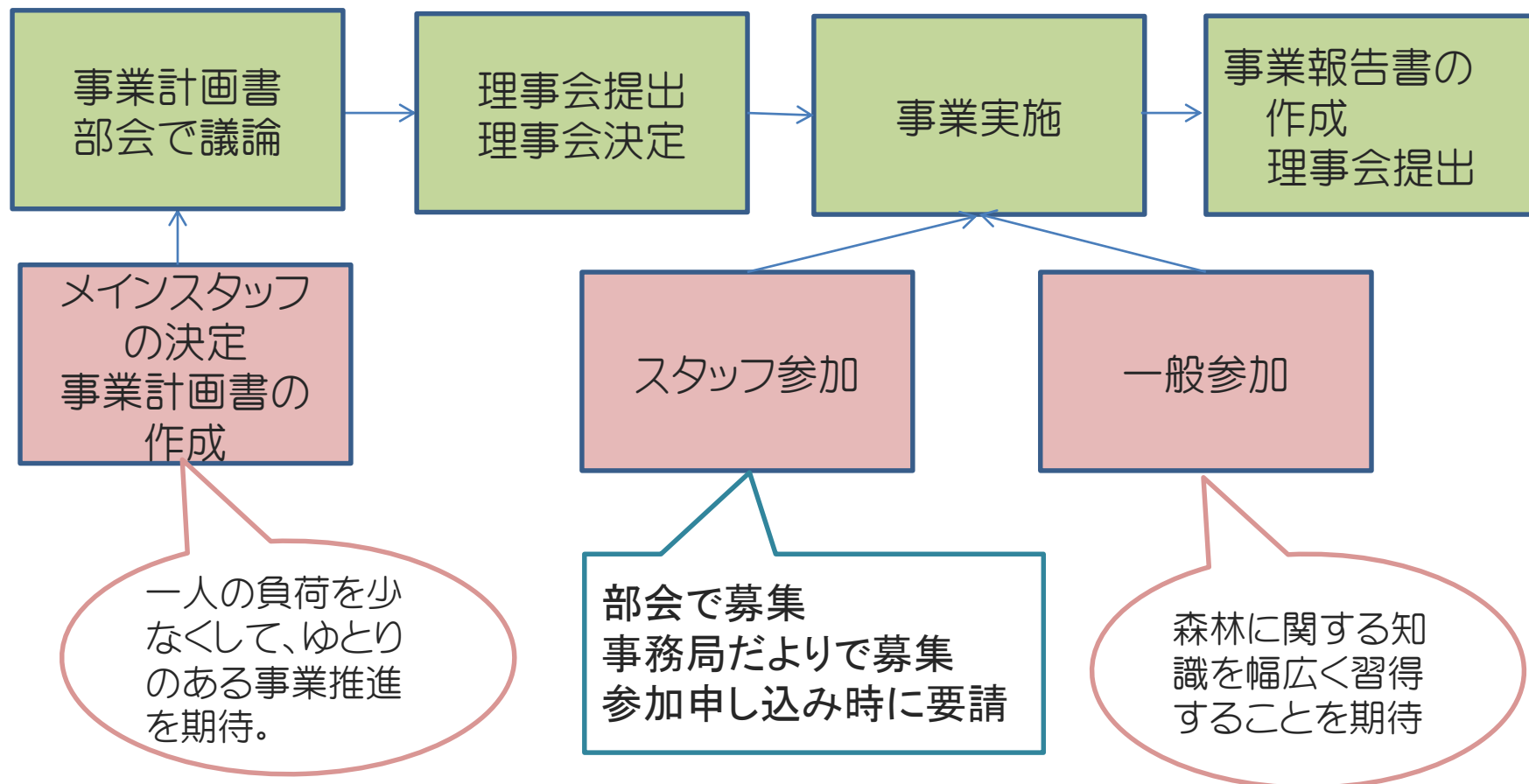
事業の推進と会員の役割(事業計画)

事業決定の流れと、会員の役割



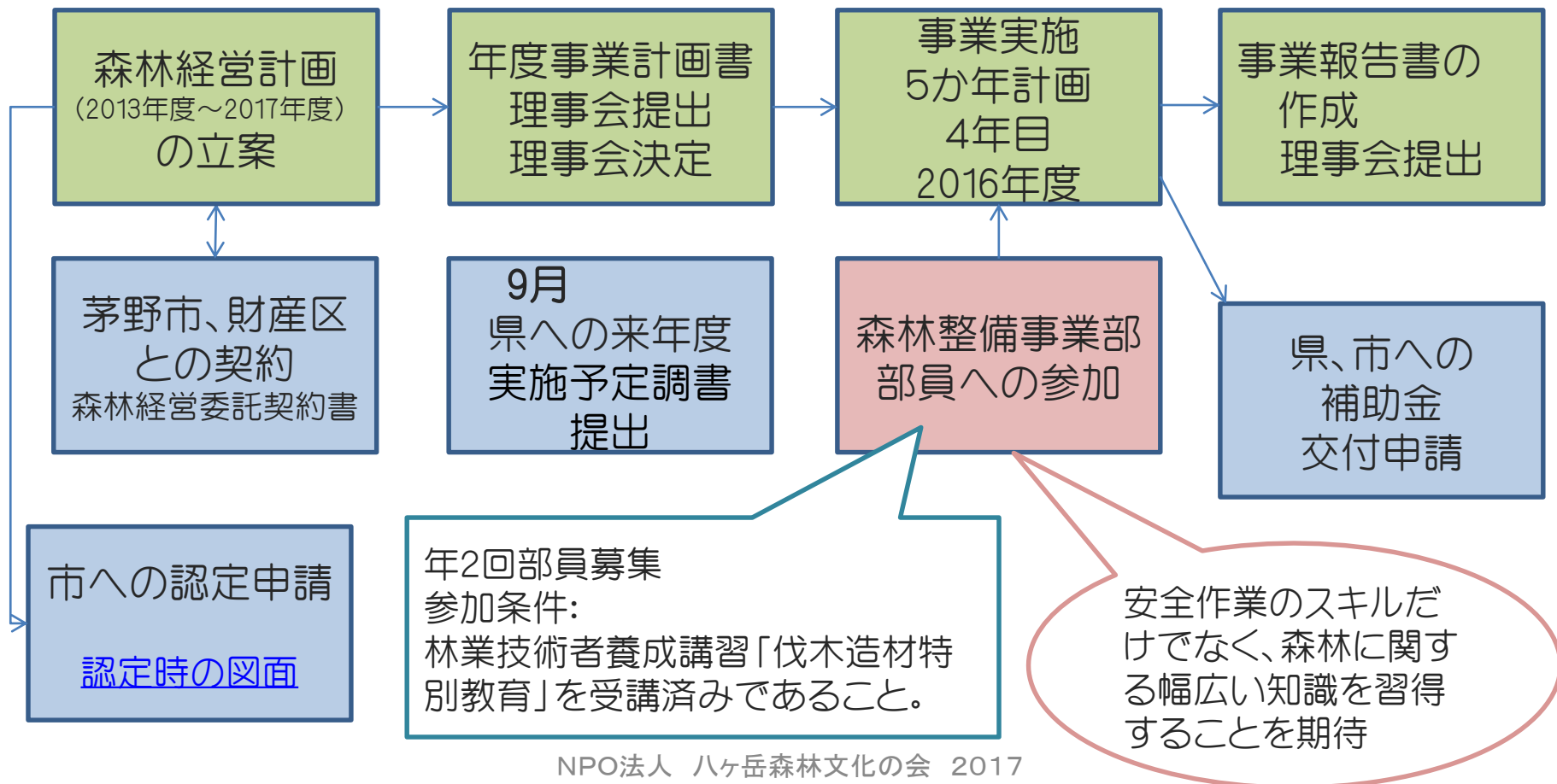
事業の推進と会員の役割(事業実施) 1

部会担当の事業実施の流れと会員の役割



事業の推進と会員の役割（事業実施） 2

森林整備事業部の事業実施の流れと会員の役割



スタッフ作業

事業実施マニュアルに従って作業を進めて頂きます。

スタッフ作業はボランティアを基本とし無報酬ですが、各種作業に要する経費を支払います。

事業の推進と会員の役割(事務局)

事務局の現状

事務局は、会を運営していくための雑多な作業が沢山。

会内部の事務処理各種、対外団体の窓口として、
事務所の管理、事務局だより発行、HPの更新などなど。

定款では、職員を置くことができるとなっているが、
現在は、専任を置かず、会員のボランティアで対応

現在、事務局員6名で、かなりの荷重となっている。

全般の対応

3名

総務 1名(現役)

会計 2名(1名現役)

事務局員が増えれば、
一人の負荷が減るので、
事務局員として活動して
くださる方を期待



事業の推進と会員の役割(問題点)

事業推進には、たくさんのスタッフが必要です。

現状の問題点

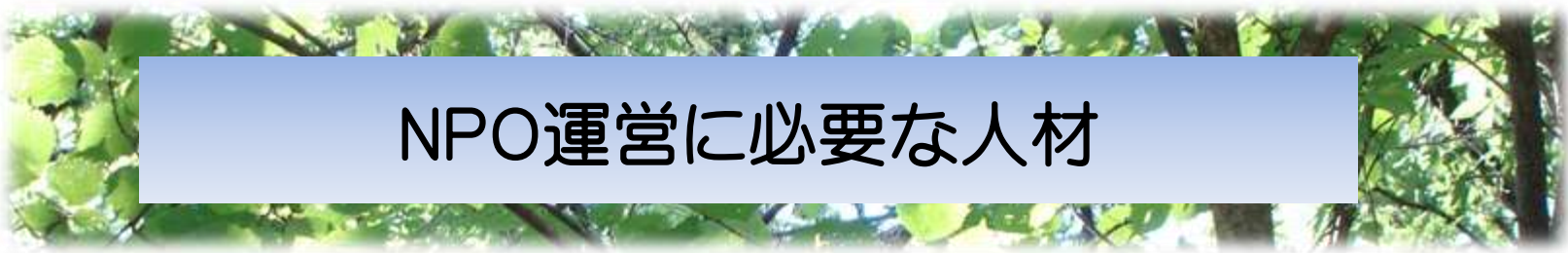
- 会員の高齢化
- スタッフとして活躍してくださる方の固定化
- 一人の負担が大きくなってきた。

会が永続的な活動を継続していくためには、

- 会の運営システムを明確にして周知
- スタッフとして活躍してくださる方の拡大
- 多くの会員さんに活躍して頂きたい。

会員の皆さん、 知恵と手をお貸しく下さい！

H27年度から取り組み開始



NPO運営に必要な人材

□事業を推進するスタッフ

それぞれの事業の特性により、必要なスキルが異なる。

例えば、

- 森林整備 チェーンソーの技術
- 森林観察 森の動植物の知識

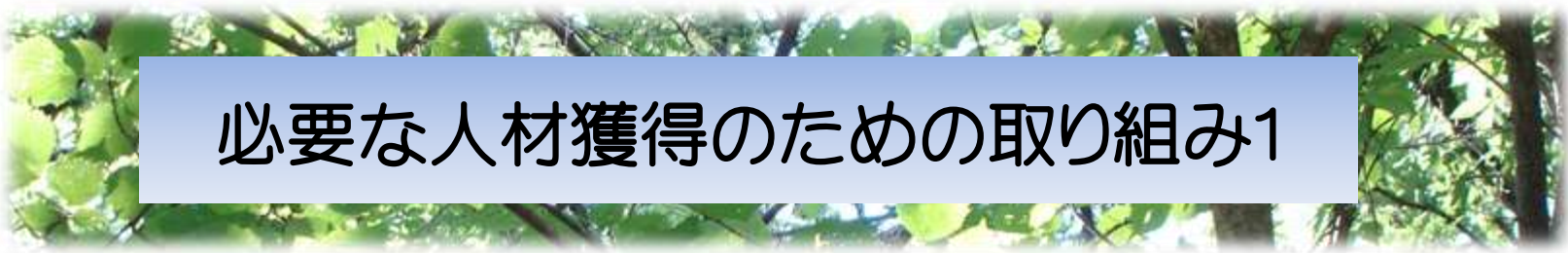
□事務局を維持するスタッフ

総務、会計、広報などをこなす人材が不可欠。

NPO運営の基本的事項を習得した人。

それぞれの経験を持った人がいたらベスト。

特にパソコン操作技術は必要不可欠となってきた。



必要な人材獲得のための取り組み1

□活動発表会の実施 (H27年度より2回)

～活動を振り返り、明日への活力に～

実施した活動から選んでの活動報告、意見交換

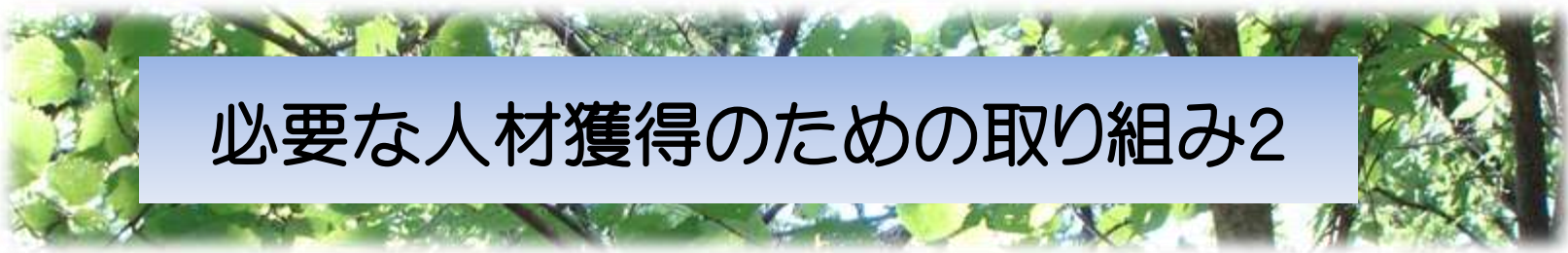
<ねらい>

○参加していない活動の理解を深める

→今後の活動の参考に

○意見交換により →活動の活性化

○顔見知りを作る →スタッフへの誘導



必要な人材獲得のための取り組み2

■新人研修会の実施（H28年度より1回）

研修内容は、本発表とほぼ同じ、

- 会運営の仕組み、事業内容

- 自己紹介

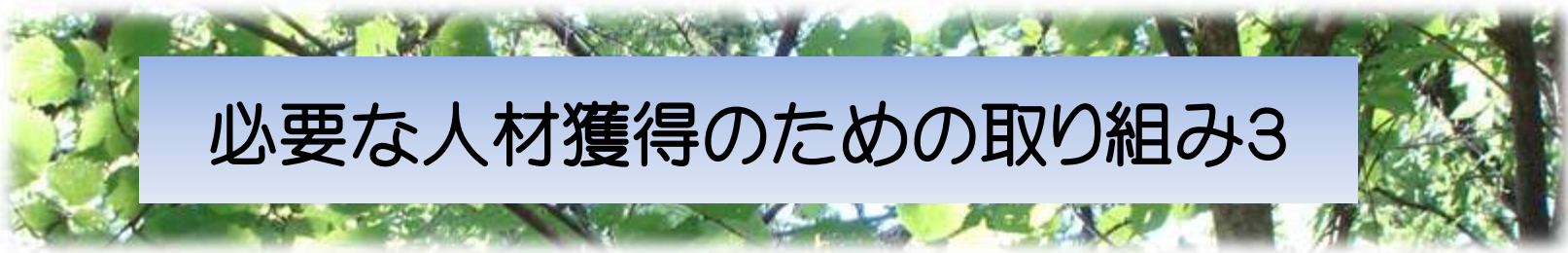
- 活動フィールドの見学

<ねらい>

- 会員の役割の周知

- 会員の持っているスキルを知る

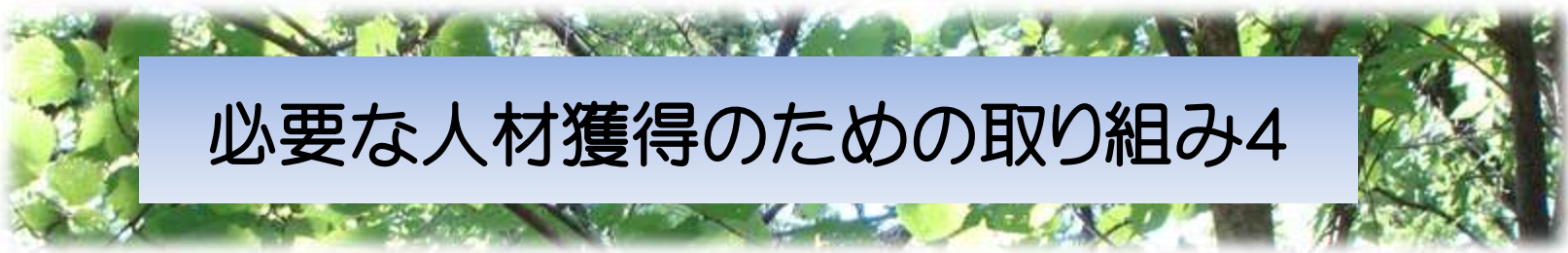
- 顔見知りを作る →スタッフへの誘導



必要な人材獲得のための取り組み3

□ 事業実施マニュアルの充実

「だれでもできる事業スタッフ」
を目指し、事業を進める上で
必要な情報をマニュアル化



必要な人材獲得のための取り組み4

□ 広報活動の充実

＜内部に向けて＞

○会報事務局だより(月末発行)

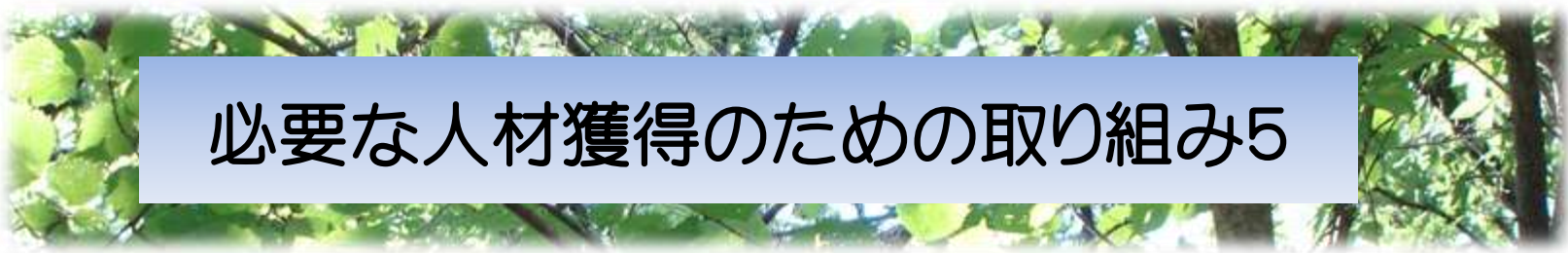
○緑の防人(年度末発行)

スタッフ作業にスポットを当てた記事

＜外部に向けて＞

○HPのリニューアル

HPの訪問者目線での情報提供



必要な人材獲得のための取り組み5

□若い世代への周知活動

○ガイドブックの制作と配布活動

○子供たちの森の体験の取り組み

<ねらい>

子育て世代の家族へ

自然の素晴らしさ、森の大切さを伝える

→ 長い目で

我々の活動を継承する人材の育成

市民の森のオオムラサキの幼虫



t

おわり

ご清聴ありがとうございました。